

小説

『#刑事の娘は何してる?』

新堂 冬樹 著

「粗大ゴミ処理券」が貼られた連続殺人事件の被害者。独特なセンスの有名刑事・神谷は、被害者の一人が、殺害される前日に出会い系アプリで知り合った女子大生と会ったことを突き止める。娘は友人の失踪の手がかりを探すためにアプリに登録し……。蓄積した歪みが顔を覗かせる。

趣味 実用

『松浦弥太郎の「いつも」』

松浦 弥太郎 著

わたしたちが求める“しあわせ”に代わる言葉とはなんでしょう。しあわせという言葉を求めずに、人づきあいや仕事、あるいは明日の自分のために、心の安らぎを手助けする弥太郎さんの「いつも」をおすそ分け。暮らしの手帖・前編集長でもある筆者が穏やかに語りかけます。

小説

『すもも 李の花は散っても』

深沢 潮 著

この結婚は日鮮を結ぶための楔くさびなのか？皇族から李王朝に嫁ぐことになった梨本なしもとのみや宮方まさこ子は、あたたかい心を持った垠ぎん殿下に政略を超えた愛情が芽生えていた。一方、方子をあがめているマサは、人生に嫌気がさしていた最中、革命家と恋に落ち……。激動の時代、2つの運命の歯車が動き出す。

趣味 実用

『“こわい”がなくなる 投資1年生の教科書』

佐藤 彰 著

「始めてみたいけど、自分には難しそう」「投資ってギャンブルでしょ」などネガティブなイメージをもっている投資初心者に向けて、わかりやすく解説。知識を高めながら、資産設計のステップアップができる「マネトレ投資法」を紹介する。

小説

『君をおくる』

泉 ゆたか 著

こんなにやさしい声を出したのはいつぶりだろう——。憧れていた仕事に疲れ果て、退職した今も自分を責めている明日香の前に現れたのは、サビ猫の「ぶーさん」だった。ある動物病院を訪れた、かけがえのない存在のペットと、器用に生きられない人間たちの4つのストーリー。

趣味 実用

『超・進化論』

NHK スペシャル取材班 著

40億年——この途方もない数字は、生命の驚くべき進化が歩んできた奇跡の歲月である。植物は危険を感じると昆虫にSOSを発信し、昆虫はとんでもないハイテクを駆使。または、生き物を巧みに操る微生物も。最先端科学で言葉を持たない彼らの深遠な世界が解き明かされる！

小説

『誰に似たのか』

中島 要 著

商い上手で日本橋しつぽくどいやの筆墨問屋を大店に育て上げた父である三代目が、隠居の身となつてすぐこの世を去った。悲しみも束の間、長年連れ添った母が年下の男に貢いでる!? どこか頼りない四代目と貧乏長屋に暮らす妹。父の妾も一癖あり——。江戸の商家を舞台に、思いが交差する家族の物語。

趣味 実用

『世界で最初に飢えるのは日本』

鈴木 宣弘 著

度重なる異常気象や多様化するウイルス。ウクライナ戦争で穀物欠乏や原油の価格高騰。迫る世界食糧危機で、最初に飢えるのは日本!? 現在、日本が置かれている食糧安全保障や食糧自給率の問題を洗い出しながら、日本国民が飢餓を回避するためのヒントを探る。

小説

『地下図書館の海』

エリン・モーゲンスターン 著

本の虫である大学院生ザカリーが、図書館でふと手に取った1冊。『甘い悲しみ』と題された、著者不明の謎めいた本。そこには誰も知るはずない少年時代の不思議な体験が記されていた。かつて扉を開けることをためらった彼を、物語は再び迎えにくる。ドラゴン賞ファンタジー長編部門受賞作。

趣味 実用

『目でみる方言』

岡部 敬史 文

ケガした時にパッと貼るのは、サビオ? カッバン? いや、リバテープ!? 日本各地の方言を、何を意味して、どのような状態なのか写真で掲載した1冊。方言にまつわるコラムも収録。ことばの響きと写真のギャップも楽しめる、はじめて聞くのどこか懐かしいお国ことばの旅へ。